

# 1 ウイルス感染症の疫学調査について

【微生物科】

川 本 歩・戎 谷 佐知子・田 川 陽 子  
本 田 達之助

## はじめに

ウイルス感染症の疫学調査として、本年度もエンテロウイルス、アデノウイルス、インフルエンザウイルスを中心としてウイルス分離を行った。

主に上下気道疾患、消化器疾患、熱性疾患からのウイルス分離状況について報告する。また9年ぶりの流行となったエコー7型ウイルスについても合わせて報告する。

## 材料と方法

調査期間は平成7年4月から平成8年3月である。材料は県内10定点医療機関で受診したサーベイランス対象外疫病の患者1483名から採取した咽頭拭い液、便、尿、髄液など1571検体を用いてウイルス分離を行った。

## 結果および考察

表1に採取した患者数、検体数を臨床診断名ごとに示した。上下気道疾患からの検体が最も多く942件で受入れ検体の60.0%を占めていた。次いで多いのは発疹症82検体、口内炎52検体である。

次にウイルス分離状況を表2に示した。ウイルス分離率は、1483名中259名(17.5%)、検体1571検中262検(16.7%)であった。表3に当所で分離したすべてのウイルス分離状況を示した。分離ウイルスは22種類であった。

以下本年度の特徴的なものについて述べる。

### 1. アデノウイルス

アデノ1型、2型ウイルスが上気道疾患から最も多数分離され、アデノ11型ウイルスが出血性膀胱炎の尿から1株検出された。

### 2. エンテロウイルス

#### 1) エコー7型ウイルス(以下E7)

7月下旬にはじめて倉吉市を中心とした中部地区の無菌性髄膜炎(AM)患者からE7が分離され11月上旬にはほぼ終息し、その後12、2月に散発的に2株ずつ分離された。

E7が分離された患者の臨床診断名は多い順に上気道炎、AM、発疹症などで、年齢分布は0才が最も多く5才以下の年齢層で多く分離された。また発疹症状は、2才以下の低年齢傾向であった。

中部地区に限局した中規模の流行であったが流行閑期に少数分離されており、他地区での次シーズンの動向に注意が必要と思われた。

(病原微生物検出情報: Vol.17 No.3, 1996に掲載された。)

#### 2) エコー3型、25型ウイルス

大流行には至らなかったが、エコー3型ウイルスは1994年8月から継続して1年間分離され特異な流行形態であった。

#### 3) コクサッキーA16型ウイルス

1988年以来7年振りの手足口病の流行の主要原因ウイルスであった。急性咽頭炎、口内炎、肺炎などからも少数分離された。

### 3. インフルエンザウイルス

西部地区定点医療機関で11月7日採取した急性咽頭炎の検体からシーズンはじめてAソ連型ウイルスを分離し、その後下旬には西部地区で本県最初の集団発生をみた。しかし、大流行には至らず2月上旬で終息した。

#### 4. ヘルペス1型ウイルス

シーズンをとおして上気道炎、口内炎から高率に分離された。

表1 疾病別検体採取状況 (1995年)

1995. 4~1996. 3

臨床診断名 (疑いを含む)	1995年									1996年			計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
上気道炎	20	13	9	5	16	15	17	17	46	19	15	13	205
	19	13	9	5	15	12	17	17	46	18	15	13	199
咽頭炎	33	40	36	51	37	22	28	42	66	45	20	16	436
	31	39	35	43	34	20	25	41	63	41	19	16	407
扁桃炎	3	3	1	6	11	6	6	5	8	6	4	3	62
	2	3	1	6	11	6	6	5	8	6	4	3	61
口内炎	6	2	6	7	7	3	3	3	1	7	4	3	52
	6	2	5	7	7	3	3	3	1	7	4	3	51
発疹症	6	5	4	8	9	4	11	6	10	7	7	5	82
	5	5	4	8	8	4	11	6	10	6	6	5	78
気管支炎	20	12	17	13	7	10	10	4	11	18	17	18	157
	18	12	16	12	6	10	10	4	11	18	17	18	152
肺炎	19	11	20	18	8	14	7	2	11	11	14	9	144
	19	11	20	17	8	14	7	2	11	10	11	9	139
腸重積	2		2	4	5		1		3	1	1		19
	1		1	2	3		1		2	1	1		12
熱性痙攣			2	2	1		4	4	2	3	2		20
			2	1	1		2	2	1	2	1		12
敗血症	4	7					3	2	2	1			19
	2	3					2	1	1	1			10
仮性グループ	5	1	2	1	1	2	3	2		3		2	22
	4	1	2	1	1	2	3	2		3		2	21
その他	12	11	13	16	22	33	19	15	13	28	12	20	214
	12	11	13	16	22	33	19	15	13	27	11	16	208
不明	25	11	14	18	15	8	6	6	6	11	9	10	139
	25	11	14	18	15	7	6	6	5	11	7	8	133
計	155	116	126	149	139	117	118	108	179	160	105	99	1,571
	144	111	122	136	131	111	112	104	172	151	96	93	1,483

(注) 上段は検体数、下段は患者数を示す。

表2 疾病別ウイルス分離状況 (1995年度)

1995. 4~1996. 3

臨床診断名 (疑いを含む)	ウ イ ル ス の 種 類																				麻 疹 計																
	アデノ		アデノ		アデノ		アデノ		アデノ		アデノ		エンテロ		インフルエンザ		エコー		エコー			コクサッキーA		コクサッキーB		ヘルペス		ポリオ		ポリオ		ムンプス		ロタ		C群ロタ	
	1型	2型	3型	4型	5型	6型	11型	71型	A型	B型	25型	3型	9型	7型	16型	A9型	B4型	3型	1型	1型		2型	3型	1型	1型	2型	3型	1型	1型	2型	3型	1型	2型	1型	2型		
上気道炎	1	2			1	1		11		2	2	2	17				1	1	6	1	1	2	1	2	1	2							54				
	1	2			1	1		11		2	2	2	16				1	1	6	1	1	2	1	2	1	2							53				
咽頭炎	9	17	1		2		1	29		3	2		20	1	3	1	12	3															104				
	9	17	1		2		1	29		3	2		9	1	3	1	12	3																103			
扁桃炎	1	2			2	2		1					4					1															13				
	1	2			2	2		1					4					1																13			
口内炎														1		1		21																23			
														1		1		21																	23		
発疹症		1			1								3	6		2		1																14			
		1			1								3	6		2		1																14			
気管支炎		2				1				1								1		1									2					8			
		1				1				1								1		1									2					7			
肺炎		1								1	1	2	1																					6			
		1								1	1	2	1																					6			
腸重積	1	1			1																								1					4			
	1	1			1																								1					4			
熱性痙攣	1												1																					2			
	1												1																					2			
敗血症													3																	1				4			
													2																	1				3			
不明熱								1					2					1																4			
								1					2					1																	4		
仮性クループ																																					
その他							1						5					1											1					8			
							1						5					1											1					8			
不明													1	5				2		1								1	8					18			
													1	5				2		1								1	8					18			
計	14	25	1		7	4	1	1	42	7	4	6	61	8	5	3	17	33	3	1	2	3	14										262				
	14	24	1		7	4	1	1	42	7	4	6	58	8	5	3	17	33	3	1	2	3	14										258				

(注) (1)上段は検体数、下段は患者数を示す。

(2) ( ) は集団発生を示す。

## ま と め

1. エコー7型ウイルスの中部地区を中心とした、中規模の流行を認めた。
2. コクサッキーA16型ウイルスによる7年振りの手足口病の大流行を認めた。
3. インフルエンザAソ連型ウイルスが11月上旬の早期に分離された。

